

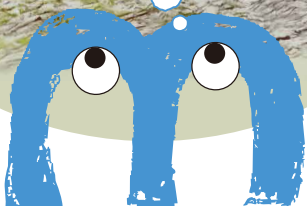
PEOPLE

ものくりピープル

vol.12



#相続



© 2022.monokuri PEOPLE



ONVO PRESS

ONVO店長の
兵藤です

ナイトギャラリーの世界へ

こんにちは！
いつも『ONVO SALON』をご利用
いただきありがとうございます。

今回はONVO SALONとGallery

Pepinさんの共同主
催による展示企画
「今月の一枚」のアー
ティスト高田研二郎
さんのイベントの様子
をお届けします！

トークイベント「アー
ティストとはなそう」で
は、ゲストに美術評論
家の野口玲一さんをお

招きし、高田さんの作品の制作方
法やアートと地域の関わりについ

て話し合いました。その中で、蛍光
塗料で描いていることを伺い、そこ
にブラックライトをかざすと作品が
浮かび上がるようにみえるとのこと。



高田さんの作品だけ
からこぞできる空間をみ
なさんと過ごしたいと
思い、6月には「ナイト
ギャラリー」を開催☆
懐中電灯を片手に店
内を探検し、まるで海
の中にいるかのような不
思議な空間でみなさん
と過ごせた貴重な体験

でした！これからもワクワクする企
画を開催しますので、お楽しみに！

「アーティストとはなそう」予約制

ギャラリートーク

TALK

アーティスト：渡辺 伸
ファシリテーター：小林優佳 (Gallery Pepin)

日時：10月1日 ④ 14:00-15:30 会場：ONVO SALON URAWA
参加費：500円 (お菓子&ドリンク付/未成年無料)
詳しくは、ONVO SALON (048-822-3341) まで。



不動産利活用

利活用事業に取り組んでいる
早坂拓紀です



個人専用の別荘からワーケーションにも対応する民宿施設へ

時代に合わせた別荘の利活用

コロナ禍で暮らし方や働き方が大
きくシフトしたと思います。その一
つとして、旅行や外出先で人気が出
たのはキャンプや一棟貸し別荘
など都市部から離れた自然とプ
ライベートが保たれた空間です。

かつて、憧れのリゾート地に所有す
る別荘は個人のステータスだった
と思いますが、管理費や老朽化に

伴う修繕費負担増や所有者高齢
化に伴う訪問回数の減少により、
相続においても負の資産と位置づ
けられることが多く、買い手市場
になっていました。割安で手に入る
リゾート物件は近年取引が増えてお
りましたが、コロナ過でステイホ
ム、リモートワークなどが日常化す
る中で郊外の戸建住宅に限らず、

即時居住可能なリゾート物件の人
気は更に高まっています。また、民
泊やワーケーション利用などシェ
ア型の利用によりビジネスとして
成立する物件やエリアも出てきま
した。人が自然と共存したいとい
う想いは普遍的なものです。所
有や利用の形態は時代と共に変
化するようです。

過去に投資として所有し眠ってい
る不動産、これから相続となる別
荘や未利用地も時代の変化に合わ
せて見直すことでその価値が新た
に生み出される可能性があります。
弊社では終活のための不動産整理
やリゾート物件の運用もお手伝い
しておりますので、お心当たりの方
はお気軽にお声掛け下さい。



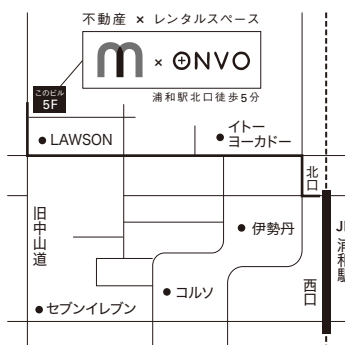
こんにちは。

猛暑を超えて酷暑が続いておりますが、皆さま
いかがお過ごしでしょうか。私たちは暑さに負け
ず頑張っております！！

vol.12は、具体的な事例やサービスについて、
「相続」に焦点を当てて纏めました。「相続」と
一言で表しても、相続を受ける立場、相続対策
をして次世代に引き継いでいく立場では、異なる局面を有します。
私たちが得意とする相続コンサルティングの一部をご紹介させて頂いており
ますので、皆さまが少しでも気になることや、聞いてみたいと思うことなど、
是非言葉にして、ものくり商事に投げかけてみてください。

ものくり商事 取締役社長 坂本博典

掲載内容のお問合せ、不動産
やレンタルスペースに関する
ご用命は下記にご連絡ください



発行 株式会社ものくり商事
〒330-0062 さいたま市浦和区
仲町1-10-7 尾張屋第一ビル5F
tel.048-822-3311

monokuri PEOPLE vol.12
2022年8月20日発行

編集・デザイン monokuri

<http://monokuri.co.jp>
<https://onvo.jp>



ONVO SALON × Gallery Pepin

#30

今月の一枚

アーティスト 渡辺 伸



Borderless (Peace or Piece)

油彩の抽象画で知られ、アーティ
ストのファンも多い渡辺伸さん。
ONVO SALONを運営するもの
くり商事の事業、不動産の
“利活用”から想を得て、今展の
テーマは「Re=再生」。制作途中
に出る木っ端やチラシの裏等を
素材とした作品で新シリーズの
発表となります。“Re”と共に
“Borderless”と、世相を反映して
いながらも、和やかな空間で手
にとって楽しんで頂ける展覧会です。

展示日時：9月1日(木)ー10月29日(土) 10:00-18:00 水曜休
ギャラリートーク「アーティストとはなそう」は、10月1日 ④ 14:00-15:30 開催。



渡辺 伸 shin watanabe

Profile

1984 武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業
個展：望郷/Gallery 榎 SATORU (吉祥寺)、Life/Bellbet (吉祥寺)
グループ展：扇子と団扇/Gallery 榎 SATORU (吉祥寺)
どこかでお会いしましたね 2022 / 埼玉会館
ing Now Vol.8 / うらわ市美術館 C・D 室 以下 個展、グループ展多数

〔同時開催〕渡辺 伸 2022 個展「水辺の光景」8月27日ー9月17日 会場：柳沢画廊

企画：Gallery Pepin / ONVO SALON

ONVO SALON

URAWA

〔お問い合わせ〕048-822-3341

担当：兵藤までご連絡ください。10:00-18:00 水曜休





賃貸経営のパートナーとして

相続した賃貸物件の管理でお困りではないですか？親の代からの管理会社はいるけど、コミュニケーションがうまくとれない、具体的なアドバイスがない、どうしたら良いのかわからない。空室がなかなか減らない。2代目オーナー様からの、そんなご相談が増えています。単純に不動産を所有すれば儲かるという時代は終わり、環境や暮らし方の変化に合わせて、手法を変えていく、つまり経営しなければ、入居者に選ばれる物件でありつづけることはできません。ものくり商事は「オーナーメイド」の賃貸管理です。オーナー様としっかり

向き合い、話し合い長期的視点でひとりひとりに合わせた管理方法を一緒に創り、伴走します。築古物件でもただ賃料を下げるだけではなく改修をすることで価値を高め、賃料を上げるためのご提案もしております。写真は、物件に対するオーナー様の保有方針を踏まえ、収支計画を基に外壁塗装をご提案した事例です。郊外の駅から離れた入居付けに苦労していた築古物件が、空いてもすぐにうまる物件にバリューアップしました。賃貸経営だけでなく「暮らしのパートナー」として何でも相談できる、そんなかかりつけ医のような存在でいられたらと思っています。



不動産管理に関する
ご相談は 担当：稲葉まで

☎0120-522-158
10:00~18:00 水曜日



お気軽に、ご相談ください！



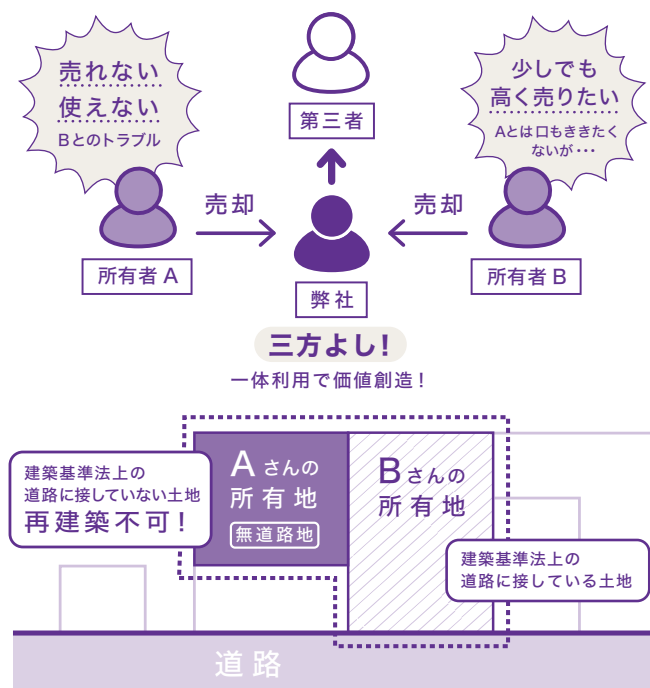
壁塗前の様子

無道路地【売れない・建てられない土地】でも

買いとります

解決事例

長年もめていた土地。ものくり商事が関わることで、Aさんは売れなかった土地を売れるようになり、BさんはAさん土地との一体利用によるメリット分、高値で売却することができた。



不動産売買

不動産売買担当の
飯塚です



売りたいのに売れない物件の相談は沢山あります

「不動産は所有者の人生そのもの」だと思いがちですが、合理的に金銭的な方法だけでは問題を解決できない案件は沢山あります。親の代からの因縁であったり、相続後に新たに発生してしまった遺恨であったり、感情的な話をすれば問題の発端は数十年前に起きていて既に諦めているという方も多くいらっしゃいます。それでも、相続の発生を機会に問題を解決したいという方々からの相談が最近特に増えています。事例は、長年ご近所トラブルを抱え、建て替えることも売却する事もできなかったAさんからの不動産売却相談に対し、ものくり商事が土地を買取り、その後Bさんと長年に渡る交渉の末、最終的にはBさんの所有地を弊社にて買取

り一体利用可能な土地としてCさんにご購入頂いたものです。難しい案件でも、否定や批判からは何も始まりません。それぞれの話に耳を傾けて誠実に対応する事が大切だと思います。結果的にそれぞれにとって良い取引になりましたし、日々の生活の中で悩みのない穏やかな暮らしを手に入れて頂いたことにやりがいを感じます。全ての案件においてご希望通りお応えすることはできませんが、当事者同士では解決できないことも、私たちが介入することで解決できることもあります。すぐに手数料にならない案件は多くの不動産屋さんに敬遠されがちですが、私たちには当たり前のことです。数年の時間を要することがほとんどですので、気になることがあれば、お早めにお声掛け下さい。

賃貸リフォーム

設計担当の
鳥山です



Space design
by monokuri monokuri

開閉式の引戸で1LDKのスペースは間取りを変更可能に

壁塗前の様子

入居率を高める、変幻自在な設計プラン

店舗やオフィス、住居などの設計を担当している鳥山です。相続後の自宅を賃貸物件へリフォームした案件です。賃貸物件ですが、完全に新しいものとするのではなく出来る限り思い出の要素は残しながら綺麗にしたいとの事でした。そのままとするものと新しくするものを整理し古い印象が残らない様に検討しました。

特徴的な木製の収納は、特に思い入れのあるものでしたので敢えてそのままアクセントとして取り込み、その他を出来るだけ新しくリフォームしました。食器棚は使い勝手を維持する為に色だけを変えて、新しい表情としています。元々の和室に有った床柱も利用して、台所との間の間仕切りに再利用しています。

間取りは1LDKベースですが、多様な借り手のニーズに対応できるように4枚引戸によってワンルームとしても使えるプランとしました。また、リビングに窓が無いので、4枚引戸は、半透明の素材で光が取り込める工夫を施し、キッチンや洗面台などは既製品の中から、雰囲気の合うものを選定し、賃貸物

件としてのメンテナンス性も考慮しました。入居者の暮らし方に合わせた汎用性の高い設計プランは、入居率を高め、オーナー様にも大変喜ばれました。設計のことなら何でも、ご相談ください！

